

『イネイネ・日本』プロジェクト 立ち上げ記念シンポジウム

～ Project on *Innovation in New Energy with INE in Nippon* ～

— イネのバイオエタノール化による持続的社会の構築 —

2007年5月30日(水) 10:30～17:30

東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール

10:30	開 会	加藤麻希子 (東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程「イネイネ・日本」プロジェクト・コーディネーター)
10:35	趣旨説明	森田茂紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科・教授「イネイネ・日本」プロジェクト代表)
10:50	メッセージ	小宮山宏 (東京大学総長) (予定)
11:00	挨拶	生源寺眞一 (東京大学大学院農学生命科学研究科・研究科長)
11:15	基調講演	迫田章義 (東京大学生産技術研究所・教授) 「水田稲作を基盤とするアジア型バイオマスタウン構想」
12:00	休 憩	
13:00	基調講演	末松広行 (農林水産省大臣官房環境政策課・課長) 「バイオマス・ニッポン総合戦略とエネルギー政策」
13:40	基調講演	横山伸也 (東京大学大学院農学生命科学研究科・教授) 「バイオエタノールの導入に向けて」
14:20	講 演	高橋治雄 ((株) 豊田中央研究所材料分野バイオ研究室・室長) 「民間企業からみたバイオマス利用・バイオエタノールへの期待と課題」
15:00	休 憩	
15:20	講 演	菅原 浩 (奥州市総合政策部企画調整課・課長兼地域エネルギー推進室・室長) 「農村におけるエネルギー自給の試み」
15:50	講 演	森田茂紀 「『イネイネ・日本』プロジェクトの目指す持続的社会」
16:20	総合討論	鮫島正浩 (東京大学大学院農学生命科学研究科・副研究科長)
17:20	閉 会	森田茂紀
17:30	懇 親 会	
19:00	終 了	

参加無料・学内関係者は事前申込不要

参加対象 ● イネのバイオエタノール化とその利用に関心をもつ、
研究者・技術者・地方自治体・生産者グループ・民間企業・市民・学生など

現在、大気中の二酸化炭素濃度の上昇に伴い地球温暖化が現実の問題となりつつあり、早急に対応を始めることが迫られている。その対策の一つとして、カーボンニュートラルという観点から、バイオマスの利用を拡大して二酸化炭素の排出量を削減し、持続的社會を構築することが強く求められている。バイオエタノールを利用することで化石燃料の使用を抑えることが、その例としてあげられる。この度、ホールクロップ・イネのバイオエタノール化に関する技術開発を行うとともに、これを生産し利用する社会システムを構築して、代替エネルギーの利用促進に基いて化石エネルギー利用を削減するとともに、農村振興を図ることを目的とした「イネイネ・日本」プロジェクトを立ち上げることとなった。この機会に、バイオエタノールを利用して持続的社會を構築するための課題と対策について議論する。

お問い合わせ

アグリコクーン 産学官民連携室
東京大学農学部 3号館 105A

電話：03-5841-8882 Eメール：office@agc.a.u-tokyo.ac.jp
http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp